

人に代わってロボットが客に料理を運ぶラーメン店が岡山市にあります。記事をよよく読んで、質問に答えましょう。

# 配膳 ロボットにお任せ

ロボットの活躍がこれからもっと増えそうだね

目標のテーブル席に到着し料理を提供するロボット



人に代わって運びます。岡山市のラーメン店に、配膳専用ロボットがお目見えした。東京の会社が開発した製品で、新型コロナウイルスの感染対策で、来店者の目を引いている。

**岡山のラーメン店導入**

「お待たせしました」。料理をテーブルまで運んだロボットが客に声を掛ける。5月25日に開店した「麺酒一照庵 晴天橋」(同市北区中仙道)は感染対策に加え、店員の負担を軽減しようと1台をレンタル。高さ約1.5mの円柱型で、直径約40cmのトレイを3段階でおり、唐揚げやギョーザ、ご飯物といったサイズドメニューの「配膳役」として働いている。

店内6カ所のテーブル席や、定位置からの経路を記憶。店員が料理を載せて操作画面で目的地を選択すると、軽やかな音楽とともに走行する。到着すると音声で知らせ、料理を取ってもらう仕組み。器が離れると重量センサーで検知し、定位置に戻ったり次の

で店員と客の接触を減らすことなどを狙いに導入。スムーズな自律走行で動き回り、来店者の目を引いている。

(小野祐香)

## 感染対策、店員の負担軽減

テーブルに向かったりする。カメラやセンサーを搭載し、客や店員、障害物を避けながら動く。珍しさからスマートフォンで動画撮影する客も多いという。店主の大野浩史さん(37)は「1回の充電で約12時間休みなく働き続けてくれるので、助かります」と話す。

人型ロボット「ペッパー」などを手掛けるソフトバンクロボティクス(東京)が、飲食業界の人手不足を改善しようと開発。「サービィ」の名称で、今年2月中旬から全国の焼き肉チェーン店やファミリーレストランなど100ブランド以上が導入しているという。

県内では、「焼肉きんぐ 岡山大供店」(岡山市北区大供)や「くらしき茶寮」(倉敷市平田)など4店も導入。他にも活用を決めている店があるという。



5日付、山陽新聞地域ワイド



Q1 ★★★★★

岡山市のラーメン店が配膳専用ロボットを導入した狙いは何ですか。第1、2段落や見出しに注目しましょう。

Q2 ★★★★★

配膳専用ロボットはどのような仕組みで、料理を運んでいますか。第3、4段落が参考になります。

Q3 ★★★★★

新型コロナウイルス禍では、人が担っていた仕事などをロボットや機械に任せるアイデアが生まれています。皆さんなら何を任せるか考えてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。